

2025 年度事業報告について

2025年 4 月 1 日から

2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人

九 電 み ら い 財 団

2025 年度は、環境事業として「環境保全活動」、「植林活動」、「環境教育活動」、「次世代向け環境活動支援」、奨学金事業として「奨学金の給与」を行ったほか、活動の情報発信を実施した。

I 環境事業

1 坊ガツル湿原での環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市、約 53ha）の保全のため、当財団と環境省及び地元自治体・団体・企業等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」を中心に、九州電力㈱大分支店や地元の方々と連携し、野焼きや希少植物保護及び平治岳ミヤマキリシマの植生保護等の活動を実施
- 各活動とも計画どおりに実施。参加者は延べ 794 名〔前年度比+112 名〕
- 2024 年度に次世代の野焼きリーダー育成を目的に実施した「野焼きリーダー養成研修」（講義・実技）に続き、野焼き（輪地切り・輪地焼き・本焼き）活動にて各班リーダーによる実習（OJT）を実施
- 野焼き（本焼き）にて、法華院温泉山荘から活動を見ながら、坊ガツル湿原の歴史や保全活動の取組み等を学ぶ勉強会を開催
- 活動成果の見える化や、参加者の満足度向上や情報発信につなげるため、湿原の生態系へ被害を及ぼす恐れのある植物調査及び平治岳のミヤマキリシマ植生範囲調査を実施

(1) 坊ガツル湿原 野焼き活動

(名)

実施日	活 動	内 容	参加者
8 / 23	輪地切り	野焼きの際の延焼を防ぐ防火帯をつくる作業	152
9 / 20	輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う作業	159
3 / 14	本焼き	防火帯の内側に火入れし、湿原一帯を焼く作業	191
計			502

(2) 坊ガツル湿原 希少植物保護活動

(名)

実施日	内 容	参加者
7 / 19	湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去する作業	108
計		108

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護活動及び登山道整備

(名)

実施日	内 容	参加者
4 /12	平治岳（大分県竹田市、約 20ha）に自生する希少植物ミヤマ キリシマの植生を保護するため、生育の支障となる樹木（ノリ ウツギ等）を伐採するとともに、老朽化している登山道を整備	98
11/ 1		86
計		184

(4) その他の活動

- ラムサール条約が求める「保全」と「活用」の観点から、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、植生保護活動の範囲をやまなみハイウェイから眺望できる北側斜面の拡大に向け、支障木（ノリウツギ等）を伐採（1ha）

(5) 活動の評価

- 各活動とも天候不良等による延期もなく計画通り実施でき、また、定員を大きく申込みがあるなど、活動認知が拡大しているものと評価
- 「野焼きリーダー養成研修」の実習（OJT）については、研修受講者の感想や意見の収集・分析を通じて、より実効性の高い内容につなげることが必要
- 野焼き勉強会には、初めて参加した方々もあり、坊ガツル湿原の取組みや財団の認知拡大に寄与したと評価

2 九電みらいの森プロジェクト

- 「いさはや九電みらいの森」（長崎県諫早市）や「きりしま九電みらいの森」（鹿児島県霧島市）において、環境教育やボランティア活動、親子向け環境教育の実施に加え、地域の憩いの場となるようフィールドの整備を実施
- 本プロジェクト第3弾「ひさやま九電みらいの森（福岡県糟屋郡久山町）」に係る森づくり協定を久山町、九州電力福岡支店及び財団の三者で締結（2025年11月）

(1) 「いさはや九電みらいの森」での活動

- 長崎県の森づくり制度に基づき、長崎県、諫早市、当財団の3者で締結した協定（2022年1月）における森林整備活動計画に則したボランティア活動及び学校向け環境教育等により、育林活動（除草委託）やフィールド整備を実施

[ボランティア]

(名)

実施日	対 象	参加者
11/22	地域の方々や地元自治体・団体、長崎大学の学生、九電グループ従業員及び家族	60
計		60

[フィールド整備]

時期	内 容	備考
4～12月	環境教育にて講話を実施する広場等の整備や環境教育で活用するエリア以外のフィールドの除草	委託

(2) 「きりしま九電みらいの森」での活動

- 霧島市、鹿児島県、九州電力(株)鹿児島支店及び当財団の四者で締結した協定（2024年1月）の計画に基づき、散策路等の維持管理に加え、植樹（広葉樹）や自然排水溝の整備などのボランティア活動を実施

[ボランティア]

(名)

実施日	対 象	参加者
11/29	地域の方々や地元自治体、九電グループ従業員及び家族等による広葉樹植樹及び自然排水溝の整備	80
計		80

[フィールド整備]

時期	内 容	備考
10 月	環境教育等の実施に向けた散策路の維持管理（樹皮敷）	委託

(3) 「ひさやま九電みらいの森」での活動

- 久山町、九州電力(株)福岡支店及び当財団の三者により土地利用・期間等に関する森づくり協定を締結（2025年11月27日）し、フィールド整備に着手

(4) 活動の評価

- 「いさはや九電みらいの森」では、地域との協働によるボランティア活動や、環境教育委託を通じた周辺施設との連携により活動が着実に定着・拡大
- 「きりしま九電みらいの森」では、ボランティアによる初めての広葉樹植樹や委託によるフィールド整備を計画通り実施。引き続き、広葉樹の植樹をはじめ中長期の整備計画検討など、豊かな森づくりに向けた取組みを地域と一体となって推進することが必要
- 「ひさやま九電みらいの森」では、協定締結など必要な手続きを着実に実施。今後は、計画に基づくフィールド整備に加え、今秋の活動開始に伴う記念植樹や環境教育の実施に向け、久山町や地元関係者及び九州電力(株)福岡支店と連携して対応を進めることが必要

3 環境教育活動

- 環境保全意識の向上のため、「くじゅう九電の森」「いさはや九電みらいの森」「きりしま九電みらいの森」において、次世代や保護者を対象に「講話」と「体験」から成る環境教育を実施
- 運営効率化と教育効果の向上を目的に、現地体験型教育で活用可能なウォークラリーアプリを新たに制作し、「きりしま九電みらいの森」において試行実施

(1) 学校向け環境教育 [計 1,093 名]

① くじゅう九電の森

○ 計6回実施、368名（小学校8校）が参加 [計画比：▲1回]

(名)

実施回	実施日	対 象	地域	子ども	大人	計
1 ～ 2	5 /14, 15	福岡市立小笹小学校	福岡	130	8	138
3	9 /12	別府市立大平山小学校	大分	37	3	40
4	9 /17	別府市立上人小学校	大分	42	3	45
		別府市立別府中央小学校	大分	25	3	28
5	9 /18	福岡市立愛宕浜小学校	福岡	40	3	43
		福岡市立能古小学校	福岡	16	3	19
6	10/23	大分市立八幡小学校	大分	29	2	31
		佐伯市立木立小学校	大分	20	4	24
	計			339	29	368

※ 福岡市立下山門小学校（9/11 予定）は雨天中止（子ども 81 名、大人 6 名）

② いさはや九電みらいの森

○ 計10回実施、520名（小学校11校）が参加 [計画比：▲1回]

(名)

実施回	実施日	対 象	地域	子ども	大人	計
1	6 /19	佐賀市立開成小学校	佐賀	53	3	56
2	6 /20	長崎市立深堀小学校	長崎	30	3	33
		長崎市立手熊小学校	長崎	8	2	10
3	6 /26	時津町立時津小学校	長崎	59	5	64
4	6 /27	佐賀市立西与賀小学校	佐賀	48	5	53
5～6	11/ 5 , 6	諫早市立真津山小学校	長崎	99	5	104
7～8	11/13, 14	鹿島市立明倫小学校	佐賀	68	5	73
9	11/18	福岡市立西陵小学校	福岡	44	4	48
		諫早市立森山西小学校	長崎	19	2	21
10	11/20	佐賀市立西川副小学校	佐賀	42	3	45
		佐賀市立富士小学校学校	佐賀	11	2	13
	計			481	39	520

※ 佐賀市立開成小学校は2回分計画していたものの、学校都合により1回に変更

③ きりしま九電みらいの森

- 計6回実施、205名（小学校6校）が参加 [計画比：±0回]

(名)

実施回	実施日	対 象	地域	子ども	大人	計
1	6 / 3	霧島市立国分南小学校	鹿児島	73	4	77
2	7 / 16	曾於市立光神小学校	鹿児島	8	3	11
3	7 / 17	霧島市立高千穂小学校	鹿児島	13	1	14
4	10 / 8	霧島市立横川小学校	鹿児島	6	2	8
5	10 / 22	さつま町立薩摩小学校	鹿児島	18	4	22
6	3 / 4	鹿屋市立大始良小学校	鹿児島	69	4	73
		計		187	18	205

(2) 親子向け環境教育 [計 283 名]

① くじゅう九電の森

- 九州全域の小学生及び保護者を対象に1回実施、65名参加 [計画比：▲2回]

実施回	実施日	対 象	子ども	大人	(計)
1	5 / 10	九州全域の親子	31	34	65
		計	31	34	65

※ 「エネ I K U in 九重」への出展を2回計画していたが、主催者が実施見送り

② いさはや九電みらいの森

- 九州電力(株)長崎支店主催イベントにブース出展、112名参加 [計画比：±0回]

実施回	実施日	内 容 (連携先)	子ども	大人	(計)
1	10 / 25	森の探検 Qウォークラリー (九州電力(株)長崎支店)	52	60	112
		計	52	60	112

③ きりしま九電みらいの森

- 九州電力(株)鹿児島支店及び九州電力送配電(株)鹿児島支社とイベント開催、106名参加 [計画比：±0回]

(名)

実施回	実施日	内 容 (連携先)	子ども	大人	計
1	6 / 7	きりしま FanFun フォレスト (九州電力(株)鹿児島支店、 九州電力送配電(株)鹿児島支社)	45	61	106
		計	45	61	106

(3) デジタル技術を活用した環境教育 [計 63 回、1,744 名] [計画比：+13 回]

- 九州全域で計 61 回実施、1,708 名（小学校 26 校）が参加

(名)

実施回	実施日	対 象	地域	子ども	大人	計
1	5/14	始良市立北山小学校	鹿児島	29	1	30
2	6/5	霧島市立高千穂小学校	鹿児島	19	2	21
3	6/10	大分市立神崎小学校	大分	23	1	24
4～5	7/15	玉名市立玉陵小学校	熊本	60	2	60
6	9/25	対馬市立大船越小学校	福岡	15	3	18
7	9/25	対馬市立美津島北部小学校	福岡	10	4	14
8～9	9/26	北九州市立黒畑小学校	北九州	52	2	54
10～12	9/29, 30	福岡市立博多小学校	福岡	84	3	87
13～16	10/3, 6	福岡市立若宮小学校	福岡	103	4	107
17	10/7	山鹿市立大道小学校	熊本	40	2	42
18～22	10/14, 15, 16	福岡市立美和台小学校	福岡	160	5	165
23～26	11/5, 7	福岡市立玉川小学校	福岡	122	7	129
27	11/26	福岡市立城浜小学校	福岡	14	2	16
28～31	12/12, 15	福岡市立壱岐小学校	福岡	117	4	121
32～33	12/18	由布市立由布院小学校	大分	55	2	57
34	1/16	熊本市立五福小学校	熊本	31	4	35
35	1/27	北九州市立赤崎小学校	北九州	28	1	29
36	1/29	福岡市立弥永小学校	福岡	30	1	31
37～40	1/28, 30	福岡市立飯倉小学校	福岡	111	5	116
41～43	2/2, 5	福岡市立姪北小学校	福岡	92	3	95
44	2/3	玉名市立睦合小学校	熊本	18	1	19
45～50	2/4, 12, 25	福岡市立筑紫丘小学校	福岡	137	5	142
51～52	2/6	唐津市立大志小学校	佐賀	63	2	65
53～55	2/9, 10	佐賀市立開成小学校	佐賀	82	3	85
56～58	2/13, 16	佐賀市立新栄小学校	佐賀	67	3	70
59～61	2/18, 19	福岡市立横手小学校	福岡	69	5	74
		計		1,631	77	1,708

- 佐賀県の高校生向け林業就業体験イベントや九電グループのイベントに出展し、VRを活用した環境教育を2回実施、38名が参加 (名)

実施回	実施日	内 容 (連携先)	子ども	大人	計
1	7/28	佐賀県高校生向け林業就業体験 (佐賀県主催)	10	0	10
2	8/22	九州電力みらいプロジェクト 子どもお仕事参観デー (九州電力㈱主催)	17	11	28
		計	27	11	38

(4) 活動の評価

- 雨天中止等があったものの、安全面の問題もなく当初計画に沿って対応
- 委託先・地域・企業等と連携した新たなプログラムの実施等により、参加者の環境意識啓発率が前年度を上回るなど(99.0%)、教育効果も向上していると認識
- 「くじゅう九電の森」、「いさはや・きりしま・ひさやま九電みらいの森」の4つのフィールドにおいて、連携先との協働のもと「きりしまの森」で試行したウォークラリーアプリの導入や充実を図ることが必要

4 次世代向け環境活動支援

(1) 2025 年度助成事業

① 助成結果

- 「九州の未来を担う子どもたちの自然を大切にする心を育む活動」をテーマに、長期的・安定的に活動したいと考える団体向けに「複数年助成コース（上限20万円×最長3年間）」を新設
- 九州各地から73件の応募があり、20件（約780万円）の団体に助成
- 活動分野と助成件数は以下のとおり

(件)

活動分野	助成件数
山・川・海などの保全活動	6
自然の大切さを学ぶ活動	11
資源の大切さを学ぶエコ活動	3

- 地区別の選考件数及び応募件数は以下のとおり

(件)

エリア		北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	計
選考件数		2	4	1	2	3	2	2	4	20
内 訳	上限 100 万円	1	2	0	1	0	0	1	2	7
	上限 20 万円	1	2	1	1	2	1	0	2	10
	複数年助成	0	0	0	0	1	1	1	0	3
応募件数		9	16	5	5	8	12	7	11	73

② 活動紹介

- 団体の活動を当財団のSNSにて紹介（団体の活動時には財団の助成活動である旨を明示）

(2) 2026 年度助成事業

① 募 集

- 「九州の未来を担う子どもたちの自然を大切にする心を育む活動」をテーマに募集
- 募集にあたっては、当財団のホームページやSNSでの紹介をはじめ、九州各県の自治体の環境関係部署及び中間支援NPO、社会福祉協議会、森林組合連合会等へ幅広く周知

② 選考結果

- 九州各地の団体から 44 件応募があり、アドバイザーのご意見をいただきながら選考。22 団体の活動に総額 730 万円の助成を決定
- 活動分野と選考件数は以下のとおり

(件)

活動分野	選考件数
山・川・海などの保全活動	6
自然の大切さを学ぶ活動	13
資源の大切さを学ぶエコ活動	3

- 地区別の選考件数及び応募件数は以下のとおり

(件)

エリ ア		北九州	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	計
合 計(①+②)		2	6	1	1	3	3	2	4	22
①選考件数		2	6	1	1	3	2	1	4	20
内 訳	上限 100 万円	3	3	0	2	2	2	1	1	14
	上限 20 万円	0	5	1	1	3	3	3	5	21
	複数年助成	1	1	1	0	1	1	0	4	9
応募件数		4	9	2	3	6	6	4	10	44
②2025 年度 複数年助成		0	0	0	0	0	1	1	0	2

(3) 活動の評価

- 2025 年度助成先団体の活動参加者について、環境意識醸成割合は 9 割以上となっており、助成を通じて子どもたちの自然を大切にする心を育むことに寄与
- 2026 年度の募集にあたっては、動画広告配信を増やしたほか、オンライン説明会を開催するなど積極的に P R したものの、応募数は減少（前年比▲29 件の 44 件）。新たなニーズの掘り起こしや更なる認知拡大が必要
- 引き続き、団体の活動機会拡大や財団活動の認知向上、更に多くの団体の一助とすることを目的に、「九電みらいの森」での協働・連携等、助成先団体や応募団体との効果的な関係構築に取り組むことが必要

Ⅱ 奨学金事業

1 奨学金の給与

(1) 給与対象

一般学生（九州工業大学）

(2) 給与額

月額 2 万円/名、年額 22 万円（8 月は支給なし）

(3) 給与人員

2025 年度は、1 名に給与

(4) 当年度給与総額

220 千円

(5) 活動の評価

2022 年度以降の新規募集を停止しており、残り 1 名の奨学生が卒業するまで（2026 年度まで）着実に給与する

Ⅲ 活動の情報発信

- ホームページやＳＮＳ（Facebook、Instagram、YouTube）等の多様な媒体の活用や機会を捉えた情報発信を実施
- ・ 財団活動の参加者にＳＮＳでの情報発信に関心をもってもらうため、活動当日にタイムリーな投稿を実施
- ・ 環境保全意識の啓発及び財団の認知向上を目的に、Instagram フォトコンテストを実施

	テーマ	募集期間	応募作品数
第 12 回	みらいへつなげたい九州の自然風景 ～私の“推し”の 1 枚～	2025/2/20～ 5 /6	2,747
第 13 回	みらいへつなげたい九州の自然風景 ～季節を彩る My ベストショット～	2025/11/14 ～2026/ 1 /12	977

〔報道実績〕

（ ）内は前年度の実績

内 容	T V	新聞	合計
坊ガツル湿原一帯での環境保全活動	7	21	28 (13)
九電みらいの森プロジェクト	7	6	13 (4)
環境教育活動	3	3	6 (11)
次世代向け環境活動支援	6	13	19 (24)
その他	0	2	2 (1)
計	23	45	68 (53)

〔ＳＮＳフォロワー数・投稿数〕

（ ）内は前年度の実績

Ｓ Ｎ Ｓ	フォロワー数	投稿数
Facebook (2016.8～)	1,453 (1,435)	120 (102)
Instagram (2017.11～)	6,852 (6,143)	121 (91)
YouTube (2024.1～)	54 (52)	0 (2)
計	8,359 (7,630)	241 (195)

- 設立 10 周年を記念した取組みとして、当財団の認知拡大及び親しみやすさの向上につなげることを目的に、公式キャラクター「たねっぴー」を制作

(1) 活動の評価

- 報道機関への案内を積極的に行った結果、環境保全活動及び植林事業への取材が増えたことから、報道実績は前年度に比べ増加（+15 件）。また、活動後の速やかなＳＮＳ更新やフォトコンテストの実施等により、ＳＮＳフォロワー数も 729 名増加し、当財団の認知拡大に寄与
- 今後も継続的な情報発信を続けるとともに、5 月に迎える設立 10 周年を念頭にファンへの感謝と更なる認知拡大を図るため、情報発信の充実が必要

Ⅳ その他

1 賛助会

- 九州電力グループ会社 32 社、個人 34 名

賛助会費：約 710 万円

2 寄附金

- 法人 1 社
- 九州電力(株)の「みらいの森を育てようプラン」加入者

寄附額：10 万円

寄附額：約 120 万円

以 上

2025 年度事業報告の附属明細書

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 64 条において準用する第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以 上